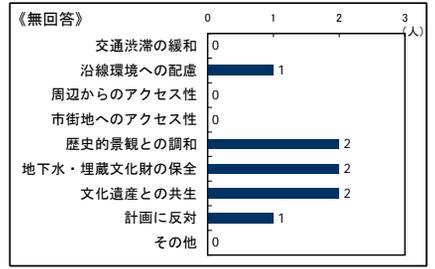
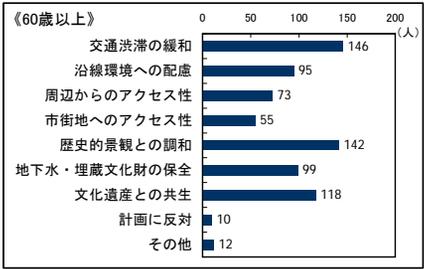
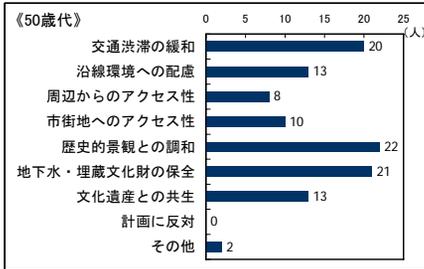
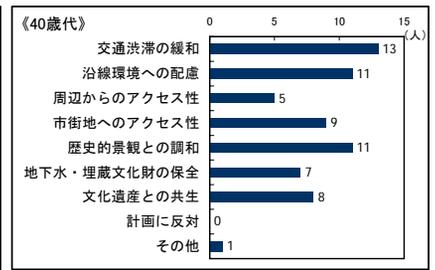
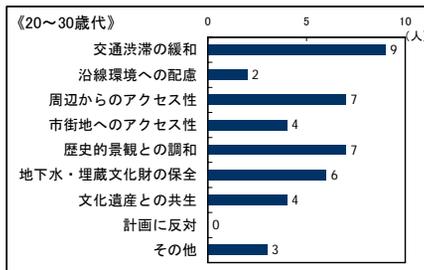
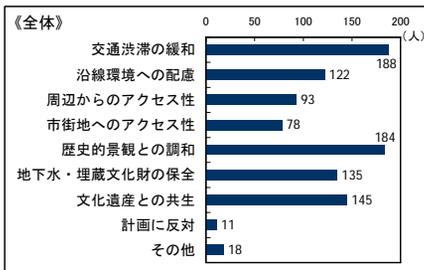


問8. 今後大和北道路の計画を進める上で、配慮すべきと思われる点は何ですか。(複数回答)

	20～30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
交通渋滞の緩和	9	64.3%	13	59.1%	20	60.6%	146	62.1%	0	0.0%	188	58.9%
沿線環境への配慮	2	14.3%	11	50.0%	13	39.4%	95	40.4%	1	6.7%	122	38.2%
周辺からのアクセス性	7	50.0%	5	22.7%	8	24.2%	73	31.1%	0	0.0%	93	29.2%
市街地へのアクセス性	4	28.6%	9	40.9%	10	30.3%	55	23.4%	0	0.0%	78	24.5%
歴史的景観との調和	7	50.0%	11	50.0%	22	66.7%	142	60.4%	2	13.3%	184	57.7%
地下水・埋蔵文化財の保全	6	42.9%	7	31.8%	21	63.6%	99	42.1%	2	13.3%	135	42.3%
文化遺産との共生	4	28.6%	8	36.4%	13	39.4%	118	50.2%	2	13.3%	145	45.5%
計画に反対	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	4.3%	1	6.7%	11	3.4%
その他	3	21.4%	1	4.5%	2	6.1%	12	5.1%	0	0.0%	18	5.6%
	N= 14		N= 22		N= 33		N= 235		N= 15		N= 319	



<その他自由回答>

- ・ダブルスタンダード(二重基準)
- ・やむを得ないが、2.5.6.7との共生に配慮のこと。でなければ中止すべき
- ・観光客をうまく誘導できるようにする
- ・既存道路の改良、一般都市計画道路の整備(大和中央道、九条線、井戸野大江線拡張など)
- ・西名阪と大和中央道の交点に大和郡山西ICの建設等
- ・金をとらないで通れる道
- ・工事中の周辺への影響
- ・自然景観との調和、高架の高さの問題
- ・住宅地開発には車歩道を確実に設ける規制が必要では。
安易に幹線道にアクセスはさせない、生活道路の確保を強く開発者に求めて欲しい
- ・人の優先 全市朝日・夕日の見える様に
- ・生態的環境への配慮
- ・税金の有効活用、建設費のコスト削減と工期短縮による早期開通
- ・早期実施、その為問題の少ない若草山(トンネル)ルートが良い
- ・他ルートの再検討、押熊・大和中央道ルート
- ・地球温暖化問題
- ・道路工事が途中で止まっている所が多く見られる。やりさしのところを完成させていくように
- ・奈良の都心へはマイカーを入れない事が出来ないか、もっと考慮すべし。
- ・本当は反対